

府中市健康地域づくり審議会
第9回熟年元気づくり分科会 報告書

- 1 日 時：平成27年7月15日（水）10時00分から11時30分まで
- 2 場 所：市役所4階第1委員会室
- 3 出席者：中野悦成（分科会会長） 宮口英昭（分科会副会長）
前原裕吉（分科会委員） 藤本命壮（分科会委員）
伊達速人（分科会委員） 守屋綾子（分科会委員）
- 4 欠席者：寺岡 暉（職権委員） 重森由枝（分科会委員）

5 概 要

(1) 開会

- (2) 審議会事務局長あいさつ
- (3) 分科会長あいさつ
- (4) 副分科会長紹介
- (5) 分科会委員の委嘱

新任委員への委嘱状の配付並びに委員の自己紹介を行った。

(6) 議事

①「生きがい創業ビジネス補助金」及び「プラチナ大学」について

●本年度の分科会の進め方の説明

事務局が、提言書により本年度の分科会の進め方を説明した。

●関係資料の説明

事務局から「生きがい創業ビジネス補助金」及び「プラチナ大学」について、募集要項案及び資料により提案・概要説明を行い、広報や募集手段等について意見を求めた。

●質疑・意見交換

【主な質疑・意見】

- 申込の仕方などを分かりやすく説明できる窓口があれば、非常に親切だ。
- 町内会へ説明に来てもらうのもいいと思う。
- 自分の地域では、この事業が知られていない。プラチナ大学や補助金のイメージが湧きにくいからではないかと思う。
- 具体的な補助対象の例示はできないか。

②高齢者の生活を支えるための地域づくりについて

●関係資料の説明

事務局から、高齢者の生活を支えるための地域づくりについて、資料により提案・概要説明を行い、元気高齢者の社会参加による高齢者の生活支援体制づくりについて意見を求めた。

●質疑・意見交換

【主な質疑・意見】

- 非常に重要な問題だ。是非とも相互に支援していくシステムを、構築していかなければならない。
- 生活支援は、要支援1・2の人が受けるものと、高齢者全体が介護度関係なく受けるものに分けられると解してよいか。
- 支援内容のコーディネートについて、病院などの「施設全般」が対象の場合と、「一人」が対象の場合とで整理が必要なのではないか。
- 実際に進めて行くためにも、日常的な人間関係づくりが広がればと思う。
- 高齢者が社会参加する意味では、色んな支援体制をつくることはよい。
- 支えられる人が支える側に回ることが増えていく、重要な時期に差し掛かっていると思う。

(7) 閉会

事務局のまとめとして、「生きがい創業ビジネス補助金」及び「プラチナ大学」については、いただいた意見を参考に周知に努めることと、高齢者の生活を支えるための地域づくりについては、内容を充実させるために、次回の分科会でも提案をさせていただくことを述べた。

宮口副会長から、色々な課題が山積しており、次の会議でも意見を欲しいと挨拶があり、閉会とした。